

## R5開始

きたかたし

# 喜多方市(福島県)

## 主な品目

- 水稲
- ◆ 豆類 (大豆)
- ♣ 野菜 (ミニトマト等)



## 実施体制

喜多方市環境にやさしい農業推進協議会(JA、認定農業者協議会、指導農業士会、観光物産協会、地元量販店、農業共済組合、土地改良区連絡協議会、県農林事務所、農業委員会、喜多方市等)

## 面積情報

有機農業取組面積:46.0ha  
耕地面積に占める割合:0.6%  
(令和5年度時点)

## 1 背景・課題

喜多方市は県内で最も有機農業が盛んな地域だが、東日本大震災による原子力災害の風評被害による有機農産物の販路の減少に伴い有機農業の取組が減少しており、未だに以前の作付面積までには回復していない状況。取組の維持・拡大に向けては、新たな販路の確保や、地域資源を活用した土づくりなどの生産技術等の継承が課題となっている。

## 2 成果目標

環境保全型農業直接支払交付金取組面積の拡大

R4年度 813ha → R10年度 1,000ha

環境保全型農業直接支払交付金の取組による温室効果ガス排出量の削減

R4年度 1,705tCO<sub>2</sub>/年 → R10年度 2,097tCO<sub>2</sub>/年

有機農業の取組面積の拡大

R4年度 46ha → R10年度 51ha

## 3 主な取組内容

### 生産

- 土壌医検定の取得支援
- 慣行栽培から有機栽培へのステップアップブックの作成(今後実施予定)
- 環境にやさしい酒米、掛け米生産農家にスポットを当てたパンフレットの作成(今後実施予定)

### 加工・流通・消費

- ECサイト販売講習会の開催
- 温室効果ガス削減の「見える化」の取組支援
- 田んぼの生き物調査の実施
- 県内外でのマルシェ・イベント等への出展
- 有機農産物商談会の開催
- 学校給食への有機米の導入



温室効果ガス削減「見える化」取組セミナー、申請サポートの実施。



有機農業のほ場で、生物多様性や環境負荷の少ない農業について学ぶ「田んぼの生きもの調査」を実施。



市内産の有機米(コシヒカリ)を市内全小中学校に提供。有機米の提供に合わせ、市長や生産者と児童と一緒に給食を喫食し交流した。

## 4 これまでの成果

有機米の学校給食への導入のため、導入に係る費用を補填。R6年度は12月の1か月間約2.9tの有機米を提供。

【有機給食の導入数量】

R5年度 0t → R6年度 2.9t

## 5 今後の展望

慣行栽培から有機農業へ転換するためには、特別栽培から有機農業へ段階的に推進していくことが必要。まずは、より多くの農業者に化学肥料・農薬を原則5割以上低減する環境にやさしい農業への転換を進め、有機農業の取組にステップアップできるよう関係機関・団体と連携しながら誘導や支援を図る。